

主要施策改定案

1 それぞれの年齢や個性、環境に応じてスポーツやレクリエーションを楽しんでいるまちづくり（「するスポーツ」）

- ①施設の効果的・効率的な整備・運営
- ②年齢や個性、環境に応じて誰もがスポーツをみずから楽しむ機会の提供
- ③スポーツやレクリエーション活動を支える人材の育成ワールドマスターズゲームズ等の大規模国際スポーツ大会開催と連動した生涯スポーツの振興

	現行計画	改定案（★新規，☆充実）
① 施設の効果的・効率的な整備・運営	<ul style="list-style-type: none"> ・アセットマネジメントの推進 本市のスポーツ施設・設備について、アセットマネジメントにより限られた施設の延命と有効活用を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アセットマネジメントの推進 本市のスポーツ施設・設備について、<u>長寿命化計画を策定し</u>、アセットマネジメントにより限られた施設の延命と有効活用を図ります。
	<ul style="list-style-type: none"> ・環境にやさしい効率的な設備の推進 太陽光発電やエネルギー効率のよい設備の導入等を積極的に図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境にやさしい効率的な設備の推進 太陽光発電やエネルギー効率のよい設備の導入等を積極的に図ります。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとにやさしい施設の改修・整備 施設（観客席，更衣室，通路，トイレなど）のバリアフリー化やユニバーサルデザイン*の理念に沿った施設のあり方を追求します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとにやさしい施設の改修・整備 <u>施設の整備・改修に際しては，観客席，更衣室，通路，トイレなどのバリアフリー化やユニバーサルデザイン*の理念に沿った施設のあり方を追求します。</u>
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域体育館の充実 既存施設の利用状況，交通条件等を踏まえ，地域体育館の充実に取り組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ★<u>府市協調などによる施設整備</u> <u>京都府との協調による西京極総合運動公園や横大路運動公園などの整備に加え，水垂運動公園（仮称）や宝が池公園体育館（仮称）の早期完成を目指して取組を進めます。</u>
	<ul style="list-style-type: none"> ・郊外型運動公園の整備 水垂埋立処分地跡地への運動公園の整備などアクセス改善も含め，郊外型運動公園の整備に取り組みます。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ★<u>スポーツ施設のあり方に関する将来構想の策定</u> <u>既存施設の利用状況や競技ニーズの多様化，今後の施設改修・整備の進捗状況などを踏まえ，長期的な観点から，必要数や規模，最適配置など本市スポーツ施設のあり方に関する将来構想の策定を進めます。</u>
		<ul style="list-style-type: none"> ★<u>ネーミングライツの活用</u> <u>わかさスタジアム京都（西京極総合運動公園野球場）やハンナリーズアリーナ（京都市体育館）の導入事例を踏まえ，新規導入や継続，新たな手法の検討に取り組むとともに，ネーミングライツ収入を効果的に活用して，施設の整備・改修を進めます。</u>
	<ul style="list-style-type: none"> ・身近なスポーツ環境の整備 身近な公園や広場などに軽い運動や健康づくりのための設備，器具などの設置に取り組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近なスポーツ環境の整備 身近な公園や広場などに軽い運動や健康づくりのための設備，器具などの設置に取り組みます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・市民に身近な施設の利用促進 学校の夜間利用など，生活圏にある施設の利用促進を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民に身近な施設の利用促進 学校の夜間利用など，生活圏にある施設の利用促進を図ります。
		<ul style="list-style-type: none"> ・施設の柔軟な管理運営及び良質なサービスの提供 市民のライフスタイル（暮らし方・生き方），生活時間の変化により多様化するニーズに応えるため，指定管理者と連携し，施設の開所時間の拡充や無料開放日の設定など管理・運営を柔軟なものとし，良質なサービスを提供します。
② 年齢や個性、環境に応じて誰もがスポーツをみずから楽しむ機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の柔軟な管理運営及び良質なサービスの提供 市民のライフスタイル（暮らし方・生き方），生活時間の変化により多様化するニーズに応えるため，指定管理者と連携し，施設の開所時間の拡充や無料開放日の設定など管理・運営を柔軟なものとし，良質なサービスを提供します。 	⇒1 「①施設の効果的・効率的な整備・運営」に移動
	<ul style="list-style-type: none"> ・気軽に体を動かすための場の設定 体育振興会，学校，競技団体，指定管理者等と連携し，ウォーキングコース，ジョギングコース，体操ひろばなどを設定します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・気軽に体を動かすための場の設定 体育振興会，学校，競技団体，指定管理者等と連携し，ウォーキングコース，ジョギングコース，体操ひろばなどを設定します。
		<ul style="list-style-type: none"> ★<u>ウォーキングイベント等に関する情報発信の充実</u> <u>各区やウォーキング協会をはじめとする各団体で実施されているウォーキングイベントやコース設定に関する情報を集約，発信することで，市民の身近な健康づくりを支援します。</u> <u>併せて，京都を訪れる観光客にとっても，歩いて京都の魅力を体験・発見できる機会となるよう取組を進めます。</u>
	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの仲間づくりへの支援 スポーツを楽しむ仲間づくりを支援するため，チームやサークル，総合型地域スポーツクラブの活動紹介や仲間募集情報の提供などに取り組みます。 	⇒3 「②スポーツを支えるしくみづくり」の「スポーツ関連情報の総合的提供」に統合

	<p>・スポーツを楽しむためのプログラムの提供 競技団体やプロスポーツチーム、レクリエーション協会等との協力のもと、各種スポーツ教室や講座の開催、室内で手軽にできるプログラムの開発・提供、指導者の派遣情報の提供などに取り組みます。</p> <p>・ニュースポーツの普及・振興の取組の強化 体育振興会、レクリエーション協会、学校等と連携し、ニュースポーツの種目の紹介や、色々な種目に親しむ機会の拡充、ルールブック・道具の貸出、新たな種目の開発支援などに取り組みます。</p> <p>・アダプテッドスポーツの普及・充実 障害のある人はもちろんのこと、幼児から高齢者、体力の低い人が参加しやすいスポーツの普及・充実に取り組みます。</p>	<p>・スポーツを楽しむためのプログラムの提供 競技団体やプロスポーツチーム、レクリエーション協会等との協力のもと、各種スポーツ教室や講座の開催、室内で手軽にできるプログラムの開発・提供、指導者の派遣情報の提供などに取り組みます。</p> <p>・ニュースポーツの普及・振興の取組の強化 体育振興会、レクリエーション協会、学校等と連携し、ニュースポーツの種目の紹介や、色々な種目に親しむ機会の拡充、ルールブック・道具の貸出、新たな種目の開発支援などに取り組みます。</p> <p>・アダプテッドスポーツの普及・充実 障害のある人はもちろんのこと、幼児から高齢者、体力の低い人が参加しやすいスポーツの普及・充実に取り組みます。</p> <p>★<u>障害の有無に関わらずスポーツを楽しむ機会の拡充</u> 障害者が参加できる大会の拡充など障害者スポーツの振興はもとより、従来から実施しているスポーツ大会、スポーツ教室の内容を再検討し、障害者と健常者が共にスポーツを楽しむことができる機会を拡充します。</p> <p>★<u>親子や多世代で楽しめるスポーツ機会の拡充</u> 親子や多世代で参加でき、家族でスポーツを楽しめるスポーツ教室等の充実により、幼児や子どもの体力向上や体を動かす喜びを体感する機会を拡充するとともに、スポーツを通じた家族の絆づくりやコミュニケーションの促進を図ります。</p> <p>★<u>子どもの多様なスポーツ体験機会の創出</u> 子どもたちが一度に様々なスポーツを体験できる教室の開催など、特定の競技のみに関わるのではなく、様々なスポーツの魅力に触れることができる機会を創出します。</p>
<p>③ <u>ワールドマスターズゲームズ等の大規模国際スポーツ大会開催と連動した生涯スポーツの振興</u></p>	<p>・市民の多様な活動を支える人材の育成、活動の支援 スポーツの楽しみ方や健康に関する指導からアスリート（競技者）の育成のための専門的な指導まで、市民のスポーツやレクリエーション活動を支える人材の育成・活動を支援します。 また、競技団体等の協力のもと指導者を派遣する出前コーチ制度を創設します。</p> <p>・スポーツボランティア制度の創設 各種スポーツイベントを支えるボランティア制度を創設し、スポーツイベントに対する市民参加を促進します。</p>	<p>★<u>関西ワールドマスターズゲームズ開催を契機とした生涯スポーツの普及・振興</u> 京都市内を含む関西全域で開催される生涯スポーツの国際総合競技大会「関西ワールドマスターズゲームズ2021」の開催準備を着実に進めることはもとより、大会開催を契機として、誰もが生涯を通じてスポーツに親しめるよう、生涯スポーツの普及・振興を図ります。</p> <p>★<u>広域スポーツの振興</u> 関西広域連合における取組等と連動して、府県域を超えたスポーツ大会への参加等、スポーツ機会の拡充に努めます。</p> <p>★<u>スポーツツーリズムの推進</u> 「京都マラソン」など京都のまちの魅力を生かしたスポーツイベントの開催、プロスポーツの振興、大規模スポーツイベントの誘致促進などの取組により、スポーツを観光資源として観光誘客やまちの活性化につなげるスポーツツーリズムを推進します。</p> <p>★<u>文化プログラムと連携したスポーツイベントの実施</u> 東京オリンピック・パラリンピック大会の開催を見据え、そのキックオフイベント「スポーツ文化ワールドフォーラム」をはじめとするスポーツと文化・芸術が融合したイベントの開催に取り組みます。</p> <p>★<u>オリンピック・パラリンピアンによるスポーツ教室等の実施</u> 京都スポーツの殿堂事業等の取組とも連携して、オリンピック・パラリンピアンによるスポーツ教室、講演会等の実施により、トップアスリートに直接触れ合える機会を拡充します。</p>
<p><u>スポーツやレクリエーション活動を支える人材の育成</u></p>		<p>⇒3 「①スポーツを支えるしくみづくり」に移動</p> <p>⇒3 「①スポーツを支えるしくみづくり」の「市民ボランティアのしくみづくり・裾野拡大」に統合</p>

2 様々なタイプのスポーツイベントに身近に触れられているまちづくり（「みるスポーツ」）

- ①競技環境と観戦環境の充実
- ②総合スポーツイベントなどの開催
- ③競技スポーツへの支援とその魅力の活用

	現行計画	改定案（★新規，☆充実）
① 競技環境と観戦環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・国際的・全国的規模のスポーツイベントに対応した施設の充実 西京極諸施設（京都市体育館，陸上競技場兼球技場，野球場，京都アクアリーナ）や京都市武道センターなどの競技環境と観戦環境の充実を図るとともに，施設使用日程の早期確保，会場へのアクセス改善などに取り組みます。 また，サッカースタジアムなど新たな施設の整備について府市協調のもとに取り組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際的・全国的規模のスポーツイベントに対応した施設の充実 西京極総合運動公園や横大路運動公園等の競技環境と観戦環境の充実を図るとともに，施設使用日程の早期確保，会場へのアクセス改善などに取り組みます。国際的・全国的規模の競技施設のバックアップとして，関連施設である伏見桃山城運動公園野球場，宝が池公園球技場，吉祥院公園野球場・球技場などの機能充実に取り組みます。 また，サッカースタジアムなど新たな施設の整備について府市協調のもとに取り組みます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・国際的・全国的規模のスポーツイベントに対応したバックアップ機能の充実 国際的・全国的規模の競技施設のバックアップとして，関連施設である伏見桃山城運動公園野球場，宝が池公園球技場，吉祥院公園野球場・球技場などの機能充実に取り組みます。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・環境にやさしい効率的な設備の推進 再掲 太陽光発電やエネルギー効率のよい設備の導入等を積極的に図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境にやさしい効率的な設備の推進 再掲 太陽光発電やエネルギー効率のよい設備の導入等を積極的に図ります。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとにやさしい施設の改修・整備 再掲 施設（観客席，更衣室，通路，トイレなど）のバリアフリー化やユニバーサルデザインの理念に沿った施設のあり方を追求します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとにやさしい施設の改修・整備 再掲 <u>施設の整備・改修に際しては，観客席，更衣室，通路，トイレなどのバリアフリー化やユニバーサルデザイン*の理念に沿った施設のあり方を追求します。</u>
② 総合スポーツイベントなどの開催	<ul style="list-style-type: none"> ・「京都マラソン」の開催 市民スポーツの振興はもとより，京都経済の活性化や京都ブランドのさらなる向上を図ることを目的とし環境にも配慮した，参加者，応援者，市民が一体となって楽しめる京都マラソンを総合スポーツイベントとして実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆「京都マラソン」の更なる定着・発展 市民スポーツの振興はもとより，京都経済の活性化や京都ブランドのさらなる向上を図ることを目的とし環境にも配慮した，参加者，応援者，市民が一体となって楽しめる総合スポーツイベント「京都マラソン」について，京都の財産として継承し，更なる発展を図ります。
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域密着型プロスポーツチームの振興 プロスポーツチームと市民の交流事業の充実など，京都を本拠とする地域密着型プロスポーツチームの振興に取り組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆プロチームをはじめとする地域密着型スポーツチームの支援・振興 <u>プロチームや企業・社会人チームなど市民がトップレベルのプレイを観戦できる機会の確保・拡充に努めるとともに，チームと市民の交流事業やスポーツ教室等の開催などスポーツを通じた地域貢献・社会貢献に取り組む地域密着型スポーツチームの支援・振興に取り組みます。</u>
	<ul style="list-style-type: none"> ・国際的・全国的規模のスポーツイベントの誘致促進 競技団体等と連携して国際的又は全国的な規模の競技大会の京都での開催の継続はもとより新規誘致についても積極的に検討します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際的・全国的規模のスポーツイベントの誘致促進 競技団体や指定管理者等と連携して，国際的又は全国的な規模の競技大会の京都での開催の継続はもとより，新規誘致についても積極的に取り組みます。
		<ul style="list-style-type: none"> ★スポーツツーリズムの推進 再掲 <u>「京都マラソン」など京都のまちの魅力を生かしたスポーツイベントの開催，プロスポーツの振興，大規模スポーツイベントの誘致促進などの取組により，スポーツを観光資源として観光誘客やまちの活性化につなげるスポーツツーリズムを推進します。</u>
③ 競技スポーツへの支援とその魅力の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・「京都スポーツの殿堂」事業の推進 京都ゆかりのトップアスリートを顕彰するとともに，その力をスポーツ振興をはじめとする京都の発展に生かすため，「京都スポーツの殿堂」事業の取組を進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆「京都スポーツの殿堂」事業の推進 京都ゆかりのトップアスリートを殿堂入りとして顕彰するとともに，殿堂入り者によるスポーツ教室や講演会などの「伝道事業」の充実を図ります。
	<ul style="list-style-type: none"> ・競技団体やプロ団体への企業支援の促進 国際的又は全国的な規模の競技大会の開催に取り組む競技団体やプロスポーツチームの民間企業による支援の促進を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・競技団体やプロチーム等への企業支援の促進 国際的又は全国的な規模の競技大会の開催に取り組む競技団体やプロチーム等への民間企業による支援の促進を図ります。
	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツボランティア制度の創設 再掲 各種スポーツイベントを支えるボランティア制度を創設し，スポーツイベントに対する市民参加を促進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ⇒3 「①スポーツを支えるしくみづくり」の「市民ボランティアのしくみづくり・裾野拡大」に統合

3 多様なスポーツ活動を支え合っているまちづくり（「支えるスポーツ」）

①スポーツを支えるしくみづくり

②だれもが利用しやすい施設の提供

③スポーツを支える組織の**人材の確保・育成**や**団体等との連携・協働**

	現行計画	改定案（★新規，☆充実）
① スポーツを支えるしくみづくり	<p>・施設の柔軟な管理運営及び良質なサービスの提供 再掲</p> <p>市民のライフスタイル（暮らし方・生き方）、生活時間の変化により多様化するニーズに応えるため、指定管理者と連携し、施設の開所時間の拡充や無料開放日の設定など管理・運営を柔軟なものとし、良質なサービスを提供します。</p>	⇒3 「②だれもが利用しやすい施設の提供」に移動
	<p>・市民ボランティアのしくみづくり</p> <p>各種スポーツイベントを支える市民ボランティアを、福祉、環境、教育など幅広い分野の市民団体と連携して募集できるしくみづくりに取り組みます。</p>	<p>☆市民ボランティアのしくみづくり・裾野拡大</p> <p><u>多くのボランティアに支えていただいている京都マラソンの取組などを踏まえ</u>、各種スポーツイベントを支える市民ボランティアを、福祉、環境、教育など幅広い分野の市民団体と連携して募集できるしくみづくりを進めるとともに、<u>ボランティア同士の交流促進などスポーツを核としてボランティアの裾野を広げる取組を進めます。</u></p>
		<p>・市民の多様な活動を支える人材の育成、活動の支援</p> <p>スポーツの楽しみ方や健康に関する指導からアスリート（競技者）の育成のための専門的な指導まで、市民のスポーツやレクリエーション活動を支える人材の育成・活動を支援します。また、競技団体等の協力のもと指導者を派遣する出前コーチ制度を創設します。</p>
	<p>・体育指導委員制度の充実</p> <p>スポーツの実技の指導者としての役割に加え、企画・立案力を持ったコーディネーターとしての役割を担うために、研修機会の充実などに取り組みます。</p>	<p>・スポーツ推進指導員制度の充実</p> <p>スポーツの実技の指導者としての役割に加え、企画・立案力を持ったコーディネーターとしての役割を担うために、研修機会の充実などに取り組みます。</p>
	<p>・個人・団体への表彰制度の充実</p> <p>市民スポーツの振興に貢献のある個人・団体に対する表彰制度の充実に取り組みます。</p>	<p>☆個人・団体・企業等への表彰制度の充実</p> <p>市民スポーツの振興に貢献のある個人・団体に対する表彰制度の充実に<u>引き続き取り組むとともに、スポーツ振興に貢献する企業等への表彰制度を創設します。</u></p>
		<p>・★京都市スポーツ振興基金の活用</p> <p><u>京都市スポーツ振興基金（平成23年度設置）を積極的に活用し、既存スポーツ施設の老朽化に伴う改修や競技・観戦環境の向上のための施設整備など市民の皆様がスポーツに親しめる環境づくりを進めます。</u></p>
② だれもが利用しやすい施設の提供	<p>・市民に身近な施設の利用促進 再掲</p> <p>学校の夜間利用など、生活圏にある施設の利用促進を図ります。</p>	<p>・市民に身近な施設の利用促進 再掲</p> <p>学校の夜間利用など、生活圏にある施設の利用促進を図ります。</p>
	<p>・ひとにやさしい施設の改修・整備 再掲</p> <p>施設（観客席、更衣室、通路、トイレなど）のバリアフリー化やユニバーサルデザインの理念に沿った施設のあり方を追求します。</p>	<p>・ひとにやさしい施設の改修・整備 再掲</p> <p><u>施設の整備・改修に際しては、観客席、更衣室、通路、トイレなどのバリアフリー化やユニバーサルデザイン*の理念に沿った施設のあり方を追求します。</u></p>
	<p>・ボランティア活動拠点の確保</p> <p>各種スポーツイベントを支えるボランティアの活動を支援する拠点の確保を図ります。</p>	⇒3 「①スポーツを支えるしくみづくり」の「市民ボランティアのしくみづくり・裾野拡大」に統合
		<p>・施設の柔軟な管理運営及び良質なサービスの提供 再掲</p> <p>市民のライフスタイル（暮らし方・生き方）、生活時間の変化により多様化するニーズに応えるため、指定管理者と連携し、施設の開所時間の拡充や無料開放日の設定など管理・運営を柔軟なものとし、良質なサービスを提供します。</p>
		<p>・★競技ニーズの多様化に対応した受入種目の拡充検討 再掲</p> <p><u>競技ニーズの多様化に対応して、障害者スポーツへの対応を含め、各施設で受入可能な競技種目の拡充を検討します。</u></p>
		<p>・★スポーツ関連情報の総合的提供</p> <p><u>市民のだれもがスポーツに関する情報を容易に入手できるよう、施設の利用情報やイベント等の開催情報、様々な団体の活動情報などスポーツに関する情報を集約し、総合的に分かりやすく提供する仕組みづくりを進めます。</u></p>
③ スポーツを支える組織の 人材の確保・育成 や 団体等との連携・協働	<p>・体育振興会、体育協会への支援</p> <p>体育振興会、体育協会の新たなかつ安定的な人材確保や育成支援を進めます。また、総合型地域スポーツクラブの育成支援を進めます。</p>	<p>☆体育振興会、体育協会等との連携・協働</p> <p><u>京都市体育振興会連合会、京都市体育協会、京都市スポーツ推進指導員会、各施設の指定管理者、さらには企業、競技団体、NPO等との連携を強化し、誰もがスポーツを楽しむ機会の提供、生涯スポーツの普及・振興、市民ボランティアの裾野拡大、スポーツ情報の提供など市民スポーツの振興に取り組みます。</u>また、総合型地域スポ</p>

		ーツクラブの育成支援を進めます。
	<p>・スポーツボランティア活動への支援 ボランティア講習会の開催や交流促進などボランティア活動を支援します。</p>	⇒3「②スポーツを支えるしくみづくり」の「市民ボランティアのしくみづくり・裾野拡大」に統合
		<p>★<u>大学との連携・協働</u> 各大学との連携を強化し、大学スポーツチームとの協働事業の実施、大学の持つ知識の活用、学生ボランティアなど人的資源の活用、大学と地域の交流促進など「大学のまち」「学生のまち」の強みを生かした取組を進めます。</p>
		<p>☆プロチームをはじめとする地域密着型スポーツチームの<u>支援・振興</u> 再掲 プロチームや企業・社会人チームなど市民がトップレベルのプレイを観戦できる機会の確保・拡充に努めるとともに、チームと市民の交流事業やスポーツ教室等の開催などスポーツを通じた地域貢献・社会貢献に取り組む地域密着型スポーツチームの支援・振興に取り組みます。</p>